

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和7年8月22日（金）午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告

学校運営協議会の設置状況、令和6年度活動報告及び今後の取組について
ハートフルセンター上大岡の開設について
令和7年度横浜子ども会議の区交流会について

3 審議案件

教委第16号議案 令和6年度実績横浜市教育委員会点検・評価報告書について
教委第17号議案 横浜市いじめ問題専門委員会委員の任命について
教委第18号議案 横浜市いじめ問題専門委員会臨時委員の任命について
教委第19号議案 横浜市学校保健審議会委員の任命について
教委第20号議案 横浜市学校保健審議会臨時委員の任命について

4 報告案件

教委報第2号 教職員の人事に関する臨時代理報告について
教委報第3号 教職員の人事に関する臨時代理報告について

5 その他

教育委員会臨時会 一般報告

1 市会関係

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○8/19 令和7年度 横浜市教育課程研究委員会 総則部会 研究協議会全体会

○8/20 令和7年度 一般学級における「誰一人取り残さない」教育の実現部会全体会

(2) 報告事項

○学校運営協議会の設置状況、令和6年度活動報告及び今後の取組について

○ハートフルセンター上大岡の開設について

○令和7年度横浜子ども会議の区交流会について

3 その他

学校運営協議会の設置状況、令和 6 年度活動報告及び今後の取組について

学校運営協議会は、地域住民、保護者と学校が学校運営の基本方針を共有し、一定の権限と責任をもち、それぞれの立場で当事者として学校運営に参画する仕組みで、全校への設置を目指しております。

令和 7 年 4 月現在の学校運営協議会の設置状況、令和 6 年度の活動報告及びそれを踏まえた今後の取組について報告します。

1 学校運営協議会 設置状況

令和 7 年 4 月現在の設置校数 **502校** / 503 校中

【参考】

○令和 6 年 10 月 1 日付の新規設置 1 校(1 協議会) 累計 500 校、380 協議会

新規設置学校運営協議会名：浜中学校

○令和 7 年 4 月 1 日付の新規設置 2 校(2 協議会) 累計 502 校、382 協議会

新規設置学校運営協議会名：あざみ野中学校、川和中学校

○設置目標と実績(累計校数)

	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末	R7 年 4 月
設置目標校数	458	505(全校)	504(全校)	503(全校)	503(全校)
実績校数	293	474	499	500	502

※R5、R6 は学校統合により全校数が減となっています。

2 令和 6 年度 各学校運営協議会 活動報告（活動内容の概要）

(令和 6 年度学校運営協議会実施報告より抜粋)

1 各学校運営協議会におけるテーマやねらい

- ・地域、保護者との一層の連携により、学びや不登校、いじめ等の課題に取り組む。
- ・持続可能な働き方についての学校と地域との連携のあり方。

2 各学校運営協議会における成果

- ・「いじめ」対策の視点を持ち、児童生徒を地域全体で見守っていくという意識の向上があった。
- ・学校職員の働き方の現状と目標の理解が進み、新日課表の取組など新しい施策の意見を得ることができた。
- ・職員参加型の協議会や、実践提案を聞いてもらう機会などにより、職員と協議会委員の顔の見える関係づくりのきっかけとなった。
- ・横浜子ども会議とリンクさせ、子ども達の話し合いに委員も参加しての熟議を実施した。

3 各学校運営協議会における課題

- ・情報交換に加え、具体的な活動につながるより建設的な運営方法をさらに検討していく。
- ・会合に参加する職員が限定されがちであり、学校全体での共有は、資料と議事録が中心となり、課題意識や成果などに温度差が感じられる場合もある。
- ・小中一貫ブロックで運営協議会を設置しているケースもあり、中学校区でまとまって情報共有や意見交換ができる良さがある。一方で、各校それぞれの実態・状況や取組、課題に応じた協議を深めることが難しい面もある。

4 各学校運営協議会の今後の取組

- ・SNSやLINE等を利用した誹謗中傷によるいじめ事案の解消に向け、小中で連携してモラル教育を実施していく。
- ・単に超過勤務時間の削減でなく、ウェルビーイングの視点で学校運営の改善を図り、学校の取組に対する理解と助言をもらう。
- ・報告ベースではなく、様々な視点からの協議を経て、課題解決に向かえる運営方法を目指す。
- ・多様性を求められる地域性を生かし、学校教育目標を基に総合的な学習の時間を中心に地域との連携・協働をカリキュラムマネジメントしていく。

3 令和6年度活動報告を踏まえた今後の具体的な取組について

協議会がほぼ全校に設置された中、次の段階として更なる質の向上を目指し、研修の充実や、好事例の発信や指導主事の訪問等、学校への支援などの取組を行っていきます。

1 充実した研修の実施

- ・横浜市人材育成指標に基づいた教職員のステージ研修（12月、1月）
- ・新任校長、副校長昇任候補者への研修（9月、12月、1月）
- ・学校運営協議会会長や委員への研修、学校運営協議会委員になっている学校・地域コーディネーターへの研修（5月、7月、11月）
- ・学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター、教職員を対象とする合同研修

2 全校への支援体制の充実

- ・指導主事による電話相談、訪問相談、個別相談
- ・広報誌「架け橋」の発行による好事例の発信（年6回）
- ・市ホームページの充実・活用し、研修内容や好事例の周知
- ・校長会と連携した各学校への発信
- ・教職員や学校運営協議会委員への指導主事による説明会の実施
- ・方面事務所による通年訪問時の情報共有
- ・未設置校への支援、相談

3 関係機関との連携の推進

- ・文部科学省CSマイスター、NPO法人、学校長経験者等との連携による研修、ノウハウ共有
- ・区役所こども家庭支援課学校連携職員による、協議会へのオブザーバー参加
- ・学校・地域コーディネーター向けに、協議会制度や、学校と地域の連携を推進するための交流会の実施、区コーディネーター主催の交流会に指導主事も参加し周知。

地域と教職員が一体となった取組

学校運営協議会を教職員の人材育成の場としても位置付け、学校代表としての自覚を持ち、全教職員が参加している。

教職員からは、業務内容や環境などを協議会委員に説明する機会を設けるとともに、協議会委員の方々との熟議の場も設けている。

熟議のテーマは、「子どもたちに身に付けてほしい社会を生き抜く力（レジリエンス）」とし、グループ討議を行い、共に考える機会となった。

また、積極的に学校だよりを活用し、保護者や地域の方への発信を行っている。【新吉田第二小】



いじめ対策に向けた取組

協議会では、いじめの未然防止をテーマに取組を進めている。協議会委員でもある弁護士からの助言を、校内のいじめ防止対策委員会に共有し、対応に活かしている。

当该校では生徒を対象に、複数の弁護士による、「いじめの未然予防授業」を毎年行っているが、5年度は協議会委員も実際に授業見学をし、理解を深めた。6年度についても各学年においてテーマを設定し、継続し実施している。学校、家庭、地域とともにいじめについて考えながら協議を進めている。【鴨志田中】



生徒と地域・学校が一体となった取組

学校運営協議会には、生徒会の代表生徒が毎回参加している。参加することで、生徒自身が学校運営に関わっているという意識を持ち、取組を進めている。参加した生徒は、協議会での内容を生徒総会にて全校に共有する等、発信を行っている。

5年度は制服のルールについて、6年度は学校行事をどのようにして盛り上げていくかということなどを議題として生徒会から提案し、議論を行った。

協議会での協議によって、関係する様々な方々から助言をいただき、今後の方向性を確認し、実際の取組を充実させることができた。

【みなと総合高】



学校運営協議会と地域学校協働本部との一体的な取組

交通安全と、地域ぐるみの見守り体制構築を目指し、「ふれあいフラワーロード構想」を、学校運営協議会と、地域学校協働本部とで立ち上げた。

「見守り強化道路」上の見守り協力家庭は、フラワーポッドを飾り、協力家庭と分かるようにし、意識づけと街づくりを兼ねた取組を実施している。

今後は、自治会町内会等と連携し、協力家庭を増やしながら、更なる取組に繋げていきたい。

【原中ブロック（原中、三ツ境小、原小）】



初の総合的な不登校支援拠点 ハートフルセンター上大岡 がオープン

～子どもに“居場所”を、保護者に“つながり”を～

令和7年8月27日、不登校の子どもたちとその保護者を支える新たな拠点「ハートフルセンター上大岡」を開設します。広々とした空間に多様な学びのスタイルを備え、子どもたちの「やってみたい!」を応援するとともに、保護者にもつながりを感じられる施設を目指します。

新拠点では子どもへの支援と合わせて、新たに保護者支援にも力を入れた取組も始めます。子どもも保護者も安心して利用できる、新しい支援のかたちを築くとともに、学校・地域・行政など関係機関との連携を深め、多様なつながりの中で一人ひとりに寄り添う支援を実現していきます。

施設概要

名称：ハートフルセンター上大岡

住所：横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー13階
(横浜市営地下鉄・京浜急行「上大岡駅」直結 徒歩約3分)

開設日：令和7年8月27日(水)

※開設に伴い、ハートフルスペース上大岡は本施設に移転します

ハートフルセンター上大岡の特徴

○これまで開設していたハートフルスペース上大岡の約4倍の面積に拡張

のびのびと体を動かせる開放的なスペースや、静かに集中して学べる学習エリアなど、子ども一人ひとりの「やってみたい!」を実現できるような環境を整えました。

○誰もが安心して「自分に合った居場所と学び」を選べる、ワンストップ型の施設へ

今後、子どもたちの声を丁寧に聴きながら、子ども自身が主体的に選べるプログラムや、リアル、オンライン、バーチャルの学びの3層空間も活用し、柔軟で多様な支援を提供します。子どもたちが自己決定の経験を積み、自己肯定感を育めるような施設を目指します。

○保護者の心に寄り添う支援を提供

保護者同士が気軽に相談や交流ができる「ハートフルカフェ」や、不登校支援コーディネーターによる相談窓口を新たに設ける予定です。子どもを見守る時間が、保護者同士のつながりの場にもなり、悩みを共有し、支え合える関係づくりを通じて、保護者自身の心にも寄り添う支援を提供していきます。



自由に過ごせるフリースペース



集中して学べる学習エリア



広々とした運動スペース



ハートフルカフェ

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



開設記念イベント

1 記念講演会

日時：令和7年8月24日（日） 10:00～12:00（途中参加、退出可）

場所：ハートフルセンター上大岡（講演会はオンライン配信あり）

対象：横浜市内在住の不登校の子ども及び保護者

内容：＜第一部 講演会＞ 10:00～11:00 頃「学校へ行けなかった毎日が宝物に変わるまで」

講師：棚園正一氏（漫画家）

＜第二部 施設見学会＞ 11:00～12:00 施設説明、見学会

申込：横浜市電子申請システムから申し込んでください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/b695e1a9-83d0-447d-86c3-1188d4e4bbb9/start>

講師：棚園 正一（たなぞの しょういち）氏



1982年、愛知県生まれ。義務教育期間の小～中学校の9年間不登校を経験。13歳の時に漫画家・鳥山明氏に会い、漫画家を志す。大学入学資格を取得し、名古屋芸術大学に進学。

著書に、『学校へ行けない僕と9人の先生』ほか。テレビ・ラジオをはじめメディア出演多数。不登校をテーマとした講演を全国各地で行っている。

2 保護者相談会

日時：令和7年9月23日（火・祝） 13:00～16:00（途中参加、退出可）

場所：ハートフルセンター上大岡

対象：横浜市内在住の不登校の子どもたちの保護者

内容：＜第一部 講演会＞ 「不登校の子どもたちの声を聴くために」

～ここを聴く傾聴と安心できる対話の場～

講師：水谷裕子氏（アーモンドコミュニティネットワーク代表）

＜第二部 相談会＞ フリースクール、その他不登校支援団体、横浜市教育委員会ほか

申込：横浜市電子申請システムから申し込んでください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/6ed1f2de-68e4-4a02-9b30-0885b5a5a2ec/start>

講師：水谷 裕子（みずたに ひろこ）氏



NPO 法人アーモンドコミュニティネットワーク理事長。都筑区で20年にわたり「傾聴と対話による支援」を土台に不登校支援・寄り添い型生活支援・学習支援・子ども食堂等を行う。共訳書「ダイアロジカル・スーパービジョン」（遠見書房）。法務省委嘱 人権擁護委員。

取材申込

取材を希望される場合は、以下の期限までに「報道関係者取材申込書」をFAXまたはE-mailでご提出ください。当日は、ハートフルセンター上大岡に直接お越しください。なお、取材・撮影の際は、子どもや保護者の顔が映らないよう会場後方から撮影するなど、ご配慮をお願いいたします。その他、現地スタッフの指示に従っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

お問合せ先

教育委員会事務局不登校支援・いじめ対策課担当課長 末吉 和弘 Tel 045-671-3706



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



子どもたちが考える！いじめをしない自分であるために…

横浜子ども会議の区交流会を開催します

横浜子ども会議は、いじめを「しない」「させない」「見逃さない」安心できる社会を目指し、全市立学校の児童生徒が、いじめ問題について主体的に考え、話し合いをする「いじめの未然防止」の取組です。

小学生から高校生までの児童生徒の代表者が区ごとに集まり、異学年でいじめそのものに向き合った話し合いを行うため、区交流会を令和7年8月27日(水)から29日(金)にかけて開催します。

▶ 日程・会場等の詳細は裏面へ

令和7年度のテーマ

いじめをしない自分であるために
～つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～



今年度のポイント

- ▶ いじめの定義を学んだうえで、「いじめをしないために自分に何ができるか」を話し合います。
- ▶ 令和7年5月に「横浜市いじめ防止基本方針」を改定しました。それに伴い、今年度中に改定する各学校の「学校いじめ防止基本方針」に、横浜子ども会議で出た子どもたちの意見を反映させます。

概要

1 横浜子ども会議の流れ

区交流会【8月】

小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の代表児童生徒が、区ごとに一堂に会し、いじめについての話し合いやいじめ防止の取組の共有をします。会議の内容を受けて、各学校に戻った際に感じたことや考えたことを報告し、自校での話し合いや具体的な取組に生かしていきます。

横浜子ども会議【通年】

各学校での話し合い、小中学校ブロックでの話し合い、高等学校・特別支援学校高等部代表生徒の話し合い
いじめの未然防止を目的に、今年度のテーマについて話し合います。いじめの定義を学び、いじめ防止対策推進法第2条の「相手が嫌だと感じているもの」がいじめであるということを理解したうえで、他者の意見や感性に触れながら、いじめをしないために自分は何ができるかを考えていきます。

12月いじめ防止啓発月間の子ども主体の取組・「学校いじめ防止基本方針」への子どもの意見反映

2 区交流会の参加者

市立小学校・中学校・義務教育学校・市立特別支援学校・市立高等学校に在籍する児童生徒の代表者

※市立特別支援学校は、参加を希望する学校のみ参加。市立高等学校は、所在する区の交流会に参加。

3 区交流会の日程・会場

開催日	時間	区	会場	内容
8月27日 (水)	13:35~15:40	中	立野小学校	各校の取組共有・話し合い
	13:45~15:30	瀬谷	三ツ境小学校	各校の取組共有・自校で活かせる取組
8月28日 (木)	13:50~15:30	鶴見	鶴見小学校	事例検討・中学校ブロックの取組
	13:15~15:15	神奈川	神大寺小学校	各校の取組をもとに話し合い
	13:30~15:30	南	南区役所	各校の取組共有・話し合い
	13:30~15:30	保土ヶ谷	保土ヶ谷小学校	各校の取組共有・自校で活かせる取組
	13:45~15:30	泉	緑園義務教育学校	各校の取組共有・自校で活かせる取組
	13:40~15:30	港南	南台小学校	SNS 事例についての話し合い
	13:45~15:30	金沢	金沢公会堂	各校の取組共有・自校で活かせる取組
8月29日 (金)	13:45~15:30	緑	中山小学校	各校の取組共有・話し合い
	14:30~16:00	西	西公会堂	各校の取組共有・話し合い
	13:30~15:10	旭	旭公会堂	各校の取組共有・自校で活かせる取組
	13:50~15:40	磯子	森東小学校	各校の取組共有・話し合い
	13:45~15:30	戸塚	戸塚区役所	各校の取組共有・話し合い
	13:45~15:30	栄	栄区役所	各校の取り組み共有・話し合い
	14:00~15:40	港北	城郷小机地区センター	いじめの未然防止に向けた協議
	13:40~15:30	青葉	青葉区役所	各校の取組共有・話し合い
	13:35~15:25	都筑	都筑区役所	各校の取組共有・話し合い

※ 取材をご希望の場合は、各開催日の前日 15 時までに下記の問合せ先へご連絡ください。

(参考) 令和6年度 横浜子ども会議の区交流会・いじめ防止市民フォーラムの様子など

区交流会では、発表形式から意見交換に転換し、いじめそのものに向き合った活発な話し合いが行われました。

「いじめ防止市民フォーラム」では、「オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪～一人ひとりができること～」をテーマに小・中・高・特支の代表者と大人(青少年指導員、主任児童委員等)が一堂に会し、子ども同士の話し合いはもちろん、大人の考えを聞いたり、子どもが率直な質問や意見を伝えたりする貴重な時間となりました。

また、児童生徒の協力のもと、「いじめをしない自分であるために」をテーマに、子どもたちの声を集めた動画も制作しました。



区交流会(R6.8月)



市民フォーラム(R6.12月)

令和6年度制作動画

「いじめをしない自分であるために ～横浜の子どもたちの声～」

<https://www.youtube.com/watch?v=rpBYBMqUeho>



お問合せ先

教育委員会事務局不登校支援・いじめ対策課担当課長 麻野 仁 Tel 045-671-3773